

[02] 和の文化表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1522069>

出版情報：和の文化. 2, 2013-03-31. NP0法人和の文化研究会
バージョン：
権利関係：

活動の記録：平成 24 年 (2012) 4 月～平成 25 年 (2013) 3 月

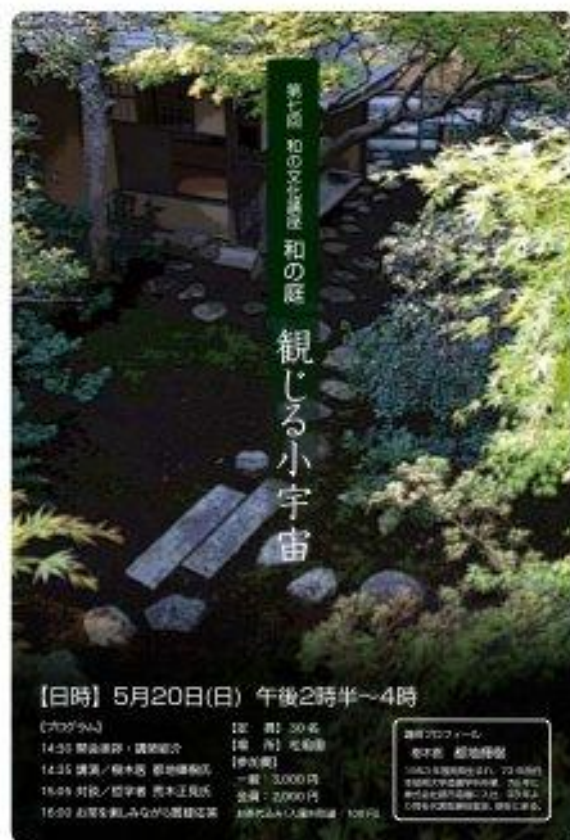
1. 平成 24 年 5 月 20 日：第 7 回和の文化講座「和の庭～観じる小宇宙」

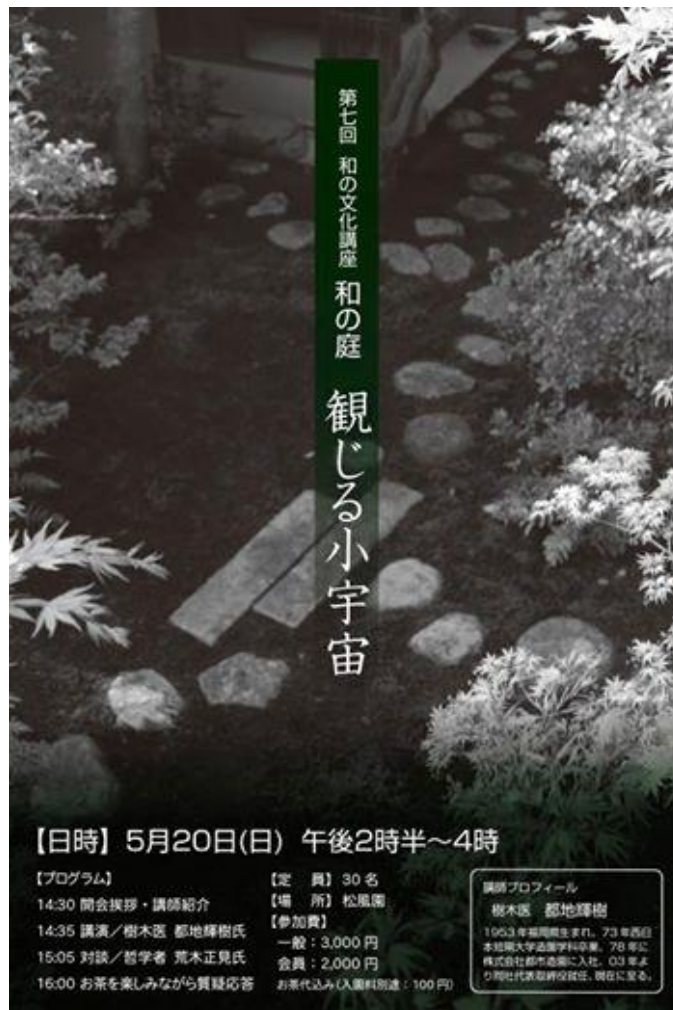
Information：

NPO 法人和の文化研究会では、5 月 20 日（日）の午後、「第七回 和の文化講座：和の庭～観じる小宇宙」を開催致します。

日本の風土と知恵と独特の美意識が作り上げてきた日本庭園の歴史と、龍安寺、大仙院などの庭園の魅力やエピソードを交えつつ、「心に映る」庭や「心で作る」庭の意味をわかりやすく探っていきます。講義と対談で織り成す、ちょっとした推理小説のような楽しい講座です。

新緑が清々しい松風園で、庭の新しい魅力に触れてみませんか？多数のご参加をお待ちしております。





【プログラム】

- 14:30 開会挨拶・講師紹介
- 14:35 講演／樹木医 都地 輝樹氏
- 15:05 対談：哲学者 荒木 正見氏
- 16:00 お茶を楽しみながら質疑応答

【定員】 30名

【場所】 松風園

【講師プロフィール】

樹木医 都地 輝樹

1953年福岡県生まれ。73年西日本短期大学造園学科卒業、78年に株式会社都市造園に入社、03年より同社代表取締役就任、現在に至る。

開催報告：

NPO 法人和の文化研究会では、2012年5月20日（日）午後、第7回和の文化講座「和の庭 ～ 観じる小宇宙」を松風園で開催致しました。

当日は、会場がほぼ満席となる二十数名の方にご参加いただき、専門的な内容ながらわかりやすく、今後の庭散策の手ほどきになる充実した楽しい講座となりました。

【第1部：講演】

樹木医 都地 輝樹氏

講師が長年携わってこられた造園・庭園管理のお仕事の体験から、またプロとしての視点から、映像を駆使されて日本の庭園史の概要を述べられ、さらに大徳寺大仙院庭園や龍安寺方丈庭園を例示されながら、日本庭園の典型的意味を説明して下さいました。特に、日本庭園は神の宿る場所という意味合いを持ち、仏教の影響を受けながら、思想的な小宇宙として発展してきたお話が印象的でした。

【第2部：対談】

- 樹木医 都地 輝樹氏
- 哲学者 荒木 正見（NPO 法人和の文化研究会理事長）

講演で述べられた内容のうち、主に庭園の構造的側面について再確認し、哲学者・心理学者としての対談者の立場から、それぞれの庭の構造の持つ心理的意味を解説した後、講師が若いころに設計した庭園のパース（スケッチ）と設計図の相違点から、その時期の講師の心理を言い当てるといった試みを行いました。

【第3部：お茶を楽しみながら質疑応答】

参加者自身の庭造りの苦勞や、さらには、専門的な庭の思想史社会史の意味などについての深い質問など、和気藹々とした雰囲気で行われました。